

2019年11月11日

FY2019(2020年3月期) 中間決算説明会資料

株式会社島津製作所
代表取締役社長 上田輝久

内容

- ① F Y 2019 中間 決算
- ② F Y 2019 中間 セグメント別業績
- ③ F Y 2019 通期予想
- ④ 重点事業戦略

決算ハイライト



中間期として
過去最高売上を更新

- 中間期として売上、営業利益、純利益が過去最高を更新
(売上は3期連続、営業利益と純利益は5期連続で過去最高を更新)
- 計測・医用・航空が増収増益、産業が半導体市況の悪化により減収減益

・計測/医用の売上は過去最高
(計測はMS・LCが堅調に推移)

- 計測と医用の売上は過去最高を更新
- MSが2桁増で牽引し、日本・中国・欧州・インドで2桁増
- LCも増収で、日本・東南アジアで2桁増

日本が好調に推移

- 日本の売上は、計測はMS・LC・試験機が好調に推移して6%増、
- 医用は、X線診断装置 (X線TV・血管撮影・一般撮影) が好調で20%増

損益計算書

- ・ 売上高 1,865億円（前同差+36億円、前同比+2%）
- ・ 営業利益 179億円（前同差 +4億円、前同比+2%）

	単位：億円	中間期		前同比	
		FY2019	FY2018	差額	増減率
業績	売上高	1,865	1,829	+36	+2%
	営業利益	179	174	+4	+2%
	営業利益率	9.6%	9.5%	0.1pt	-
	経常利益	181	187	▲6	▲3%
	親会社株主に帰属する当期純利	132	129	+3	+3%
為替	平均レート：米ドル（円）	108.7	110.3	▲1.6	▲1.5%
	ユーロ（円）	121.5	129.9	▲8.4	▲6.5%
主要投資	研究開発費	85	81	+4	
	設備投資額	97	102	▲5	
	(減価償却費)	65	56	+9	

為替影響

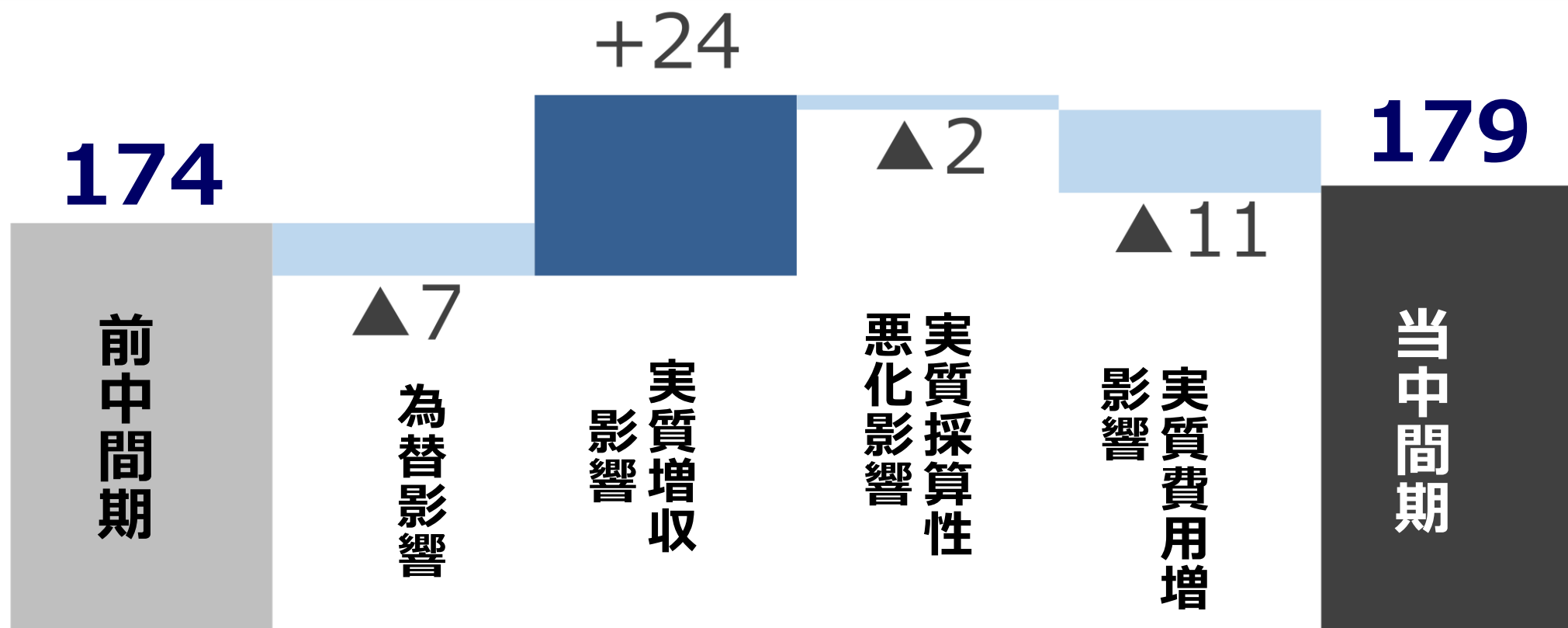
売上高 : ▲24億円
営業利益 : ▲7億円

為替感応度

	売上高	営業利益
USD	12億円	4億円
EUR	2億円	0.7億円

営業利益増益要因

- ・ 為替影響は▲7億円
- ・ 為替影響を除いた実質増収影響は24億円
- ・ 実質採算性悪化は2億円、実質費用増は11億円



セグメント別損益

- ・ 計測：中間期で過去最高の売上を更新したが、営業利益は販管費増加により横ばい
- ・ 医用：日本が大幅に増加し、過去最高売上・営業利益を更新
- ・ 産業：油圧や真空熱処理炉は堅調に推移したが、TMPの減少を補えず減収減益
- ・ 航空：民航・防衛ともに、増収増益

(億円)	売上					営業利益					営業利益率			
	FY2019	FY2018	対前年			FY2019	FY2018	対前年			FY2019	FY2018	対前年	
			差額	増減率	除為替			差額	増減率	除為替			増減	除為替
計測	1,134	1,111	+23	+2%	+4%	156	156	+0	+0%	+3%	13.8%	14.0%	▲0.2pt	▲0.0pt
医用	349	326	+22	+7%	+8%	14	7	+7	+106%	+117%	4.0%	2.1%	+1.9pt	+2.1pt
産業	195	228	▲33	▲15%	▲14%	11	22	▲11	▲49%	▲44%	5.8%	9.7%	▲3.9pt	▲3.4pt
航空	152	124	+28	+22%	+23%	3	▲2	+5	-	-	2.0%	-1.8%	+3.8pt	+3.7pt
その他	35	39	▲4	▲10%	▲10%	6	2	+4	+185%	+185%	13.7%	4.4%	+9.3pt	+9.3pt
調整額						▲12	▲10	▲1	-	-				
合計	1,865	1,829	+36	+2%	+3%	179	174	+4	+2%	+6%	9.6%	9.5%	+0.1pt	+0.3pt

- ① F Y 2019 中間 決算
- ② **F Y 2019 中間 セグメント別業績**
- ③ F Y 2019 通期予想
- ④ 重点事業戦略

計測機器/サブセグメント売上高

・ **重点機種 619億円**：+24億円（+4%）

MSは大学・官公庁、製薬、臨床向けなどに好調。LCは堅調に推移

・ **その他 516億円**：横ばい

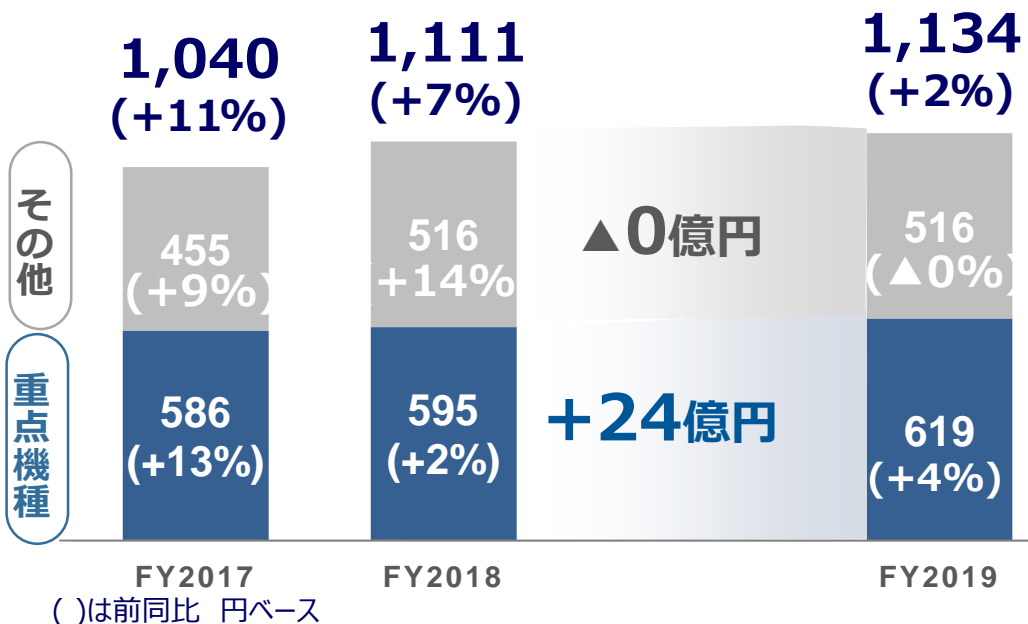
前年の中国の水質モニタリングの特需反動あったが、試験機などが増加し全体では横ばい

・ **AM 売上361億円**：+17億円（+5%） **AM比率32%**：+1ポイント

*重点機種：液体クロマトグラフ（LC）
質量分析計（MS）
ガスクロマトグラフ（GC）

*AM=アフターマーケット

計測機器 売上高 推移（億円）



計測機器製品

その他



水質分析計



試験機



X線光電子分光分析装置



蛍光X線分析装置

重点機種



液体クロマトグラフ
Nexera



LCMS-9030



Nexis GC-2030



GCMS-QP2020 NX

計測機器/地域別売上高

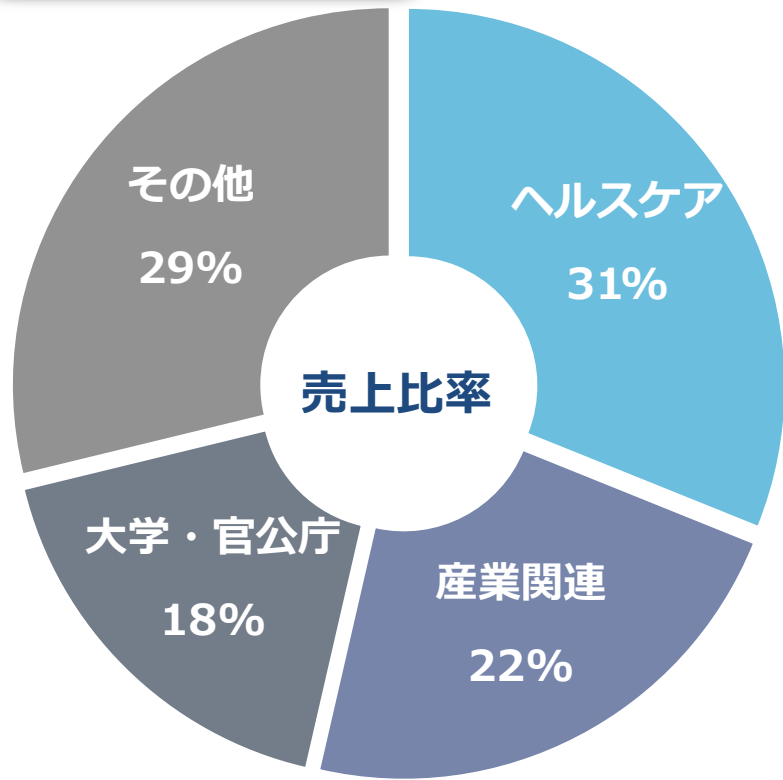
- ・ 日本：+6% 重点機種が好調
- ・ 海外：▲0% 中国の減少を、好調な欧州、東南アジアが補い横ばい
- ・ 海外売上高比率：60% 前年同期▲2ポイント、日本が好調に推移

	FY2019 Q2	FY2018 Q2	増減額	増減率	為替影響 除く	概況
日本	457	430	+27	+6%	+6%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 重点機種が+14%と大きく増加。 ・ 試験機などが増加したことにより、その他機種も増収
その他 アジア	138	122	+16	+13%	+15%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東南アジア：+22% 製薬向けに重点機種が好調 ・ インド：+3% 受託分析向け等が好調で回復基調
欧州	120	117	+4	+3%	+10%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 臨床、大学・研究機関、製薬向けが好調 ・ 地域別では特にロシアが好調に推移
北米	121	124	▲3	▲3%	▲1%	<ul style="list-style-type: none"> ・ カナビス、製薬向けが好調 ・ 病院向けのMSが減少
中国	250	270	▲20	▲7%	▲6%	<ul style="list-style-type: none"> ・ MSは大学・研究機関や臨床分野向けで2桁増と好調 ・ 前年の環境モニタリング他の特需影響により減少

計測機器/市場別売上高比率

- ・ 大学・官公庁 : 大学は日本、中国、欧州が好調で、官公庁は日本が大きく増加
- ・ 産業関連 : 日本が好調に推移
- ・ ヘルスケア : 中国の食品向け需要が減速

市場別売上構成比

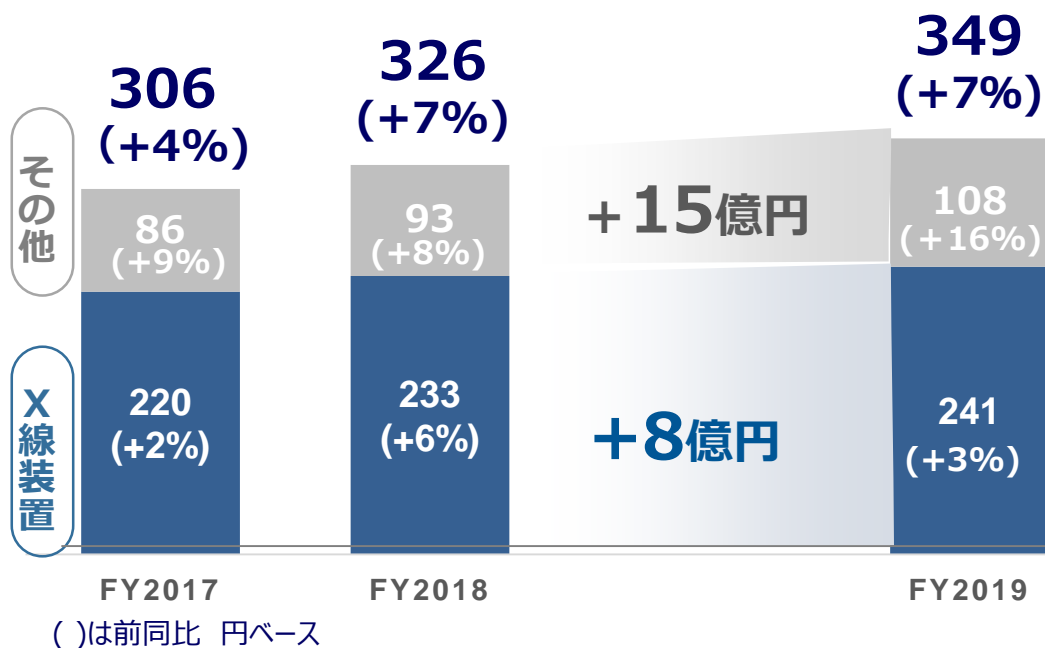


市場と主な業界	前同比	概況
ヘルスケア ・ 医薬・食品 ・ 医療機関	▲3%	・ 臨床向けは好調なものの、中国の食品向け需要が減速
産業関連 ・ 化学・素材 ・ 電機 ・ 自動車	+1%	・ 日本が試験機などが好調に推移し海外の減少を補う ・ 中国の電子・電機向けは二けた減
大学・官公庁	+11%	・ 官公庁は日本が大きく増加 ・ 大学は日本、中国、欧州が好調
その他	+2%	・ 分析機器顧客のすそ野拡大

医用機器/サブセグメント売上高

- ・ X線装置 241億円：+8億円（+3%）
全機種とも増収で、特に血管撮影システムが好調。地域別では、日本が3機種ともに大幅増
- ・ その他 108億円：日本国内が好調で+15億円（+16%）
- ・ AM 108億円：+9億円（+9%） AM比率31%：+1ポイント

医用機器 売上高 推移（億円）



医用機器製品

その他



X線装置



医用機器/地域別売上高

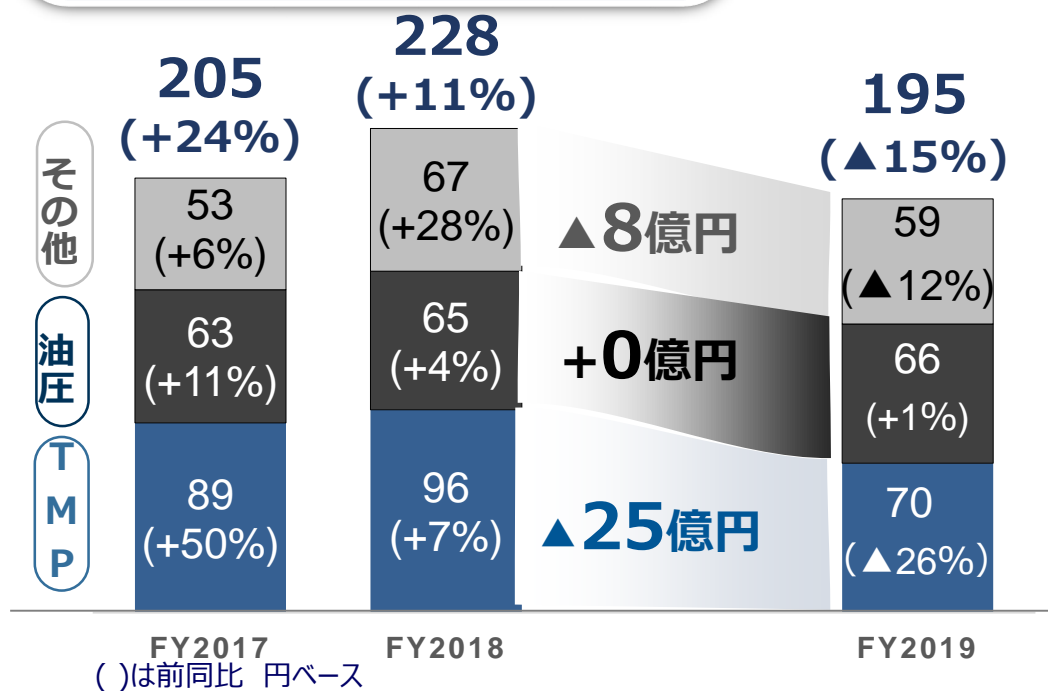
- ・ 日本：+20% 画像処理技術やアプリケーションが評価され、X線装置が増加
- ・ 海外：▲9% 特に北米、中国が低迷
- ・ 海外売上高比率36%：前年同期▲7ポイント 日本が好調に推移

	FY2019 Q2	FY2018 Q2	増減額	増減率	為替影響 除く	概況
日本	223	186	+38	+20%	+20%	・ X線装置、 その他共に好調に推移
その他 アジア	22	23	▲1	▲3%	▲2%	・ インドの血管撮影システムは好調だったが、 前年大型案件の反動を補えず
中国	25	28	▲3	▲11%	▲10%	・ 国産品優遇、入札遅延が継続
欧州	17	21	▲4	▲21%	▲16%	・ 前年大型案件の反動
北米	36	45	▲10	▲22%	▲20%	・ デジタル化促進施策の反動が継続し、回診装置及び 一般撮影装置の需要が低迷






産業機器/サブセグメント別売上高

- ・ TMP 70億円：▲25億円（▲26%）半導体市場の低迷
- ・ 油圧 66億円：横ばい（+1%）北米・中国の減少を堅調な日本が補う
- ・ その他 59億円：▲8億円（▲12%）真空熱処理炉は堅調、中国の設備投資抑制でガラスワインダは減少
- ・ TMP AM 17億円：+2億円（+11%）AM比率25%：+8ポイント

産業機器 売上高 推移（億円）



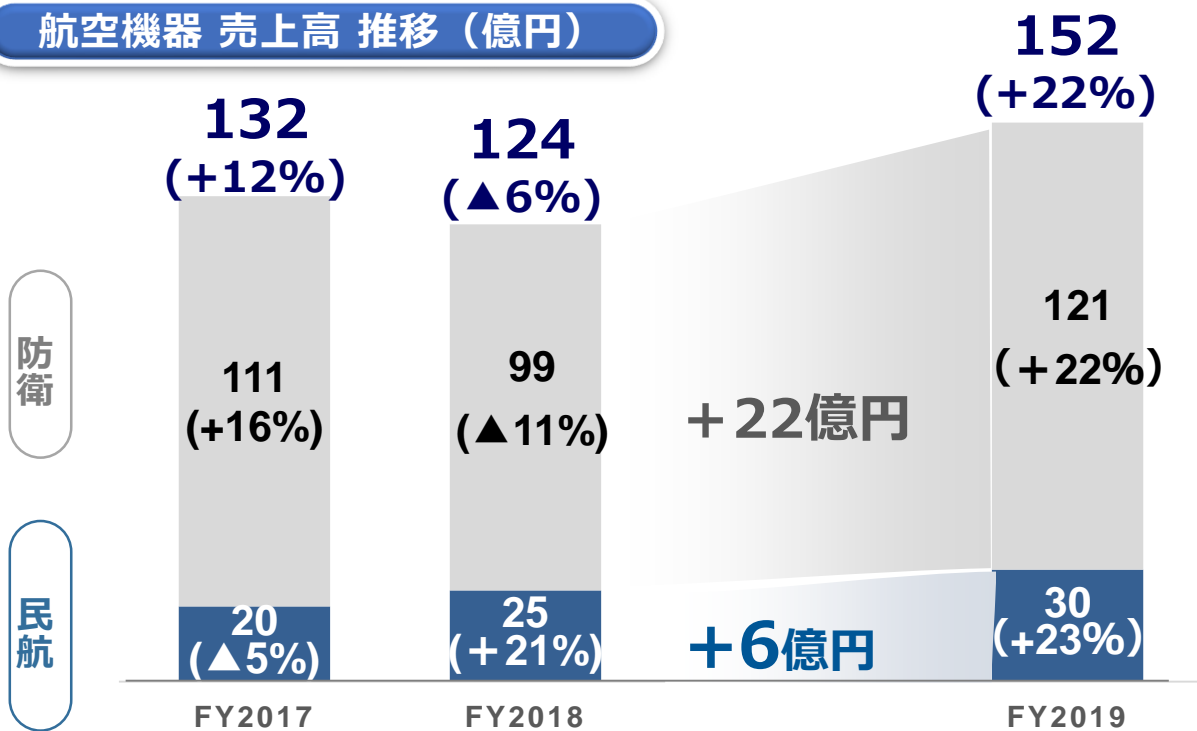
産業機器製品

その他	 <p>真空熱処理炉</p>	 <p>高速スパッタリング装置</p>	 <p>バランス</p>
	TMP	 <p>ターボ分子ポンプ</p>	 <p>油圧ギアポンプ</p>

航空機器

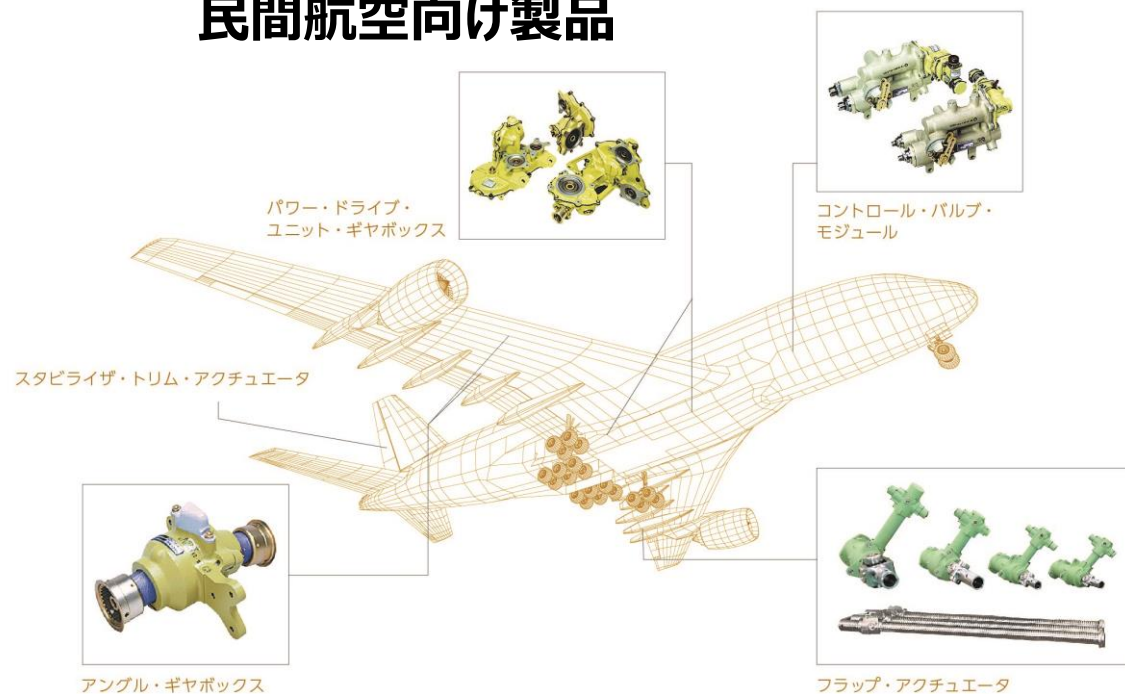
- ・民航 30億円：+6億円（+23%）堅調な中・小型機需要を背景に民間航空機向け搭載機器、およびエアライン向け補用品の売上が増加
- ・防衛 121億円：+22億円（+22%）新型輸送機向けなどが増加

航空機器 売上高 推移（億円）



()は前同比 円ベース

民間航空向け製品



- ① F Y 2019 中間 決算
- ② F Y 2019 中間 セグメント別業績
- ③ F Y 2019 通期予想**
- ④ 重点事業戦略

FY2019 通期予想

・研究開発の強化、設備投資の拡大など成長に向けた投資を拡大しつつ、
7期連測の増収増益、5期連続の過去最高更新を目指す

単位：億円		通期		前期比			
		FY2019	FY2018	差額	増減率	除為替影響	
業績	売上高	4,100	3,912	+188	+5%	+252	+6%
	営業利益	470	445	+25	+6%	+47	+11%
	営業利益率	11.5%	11.4%	+0.1pt	-		
	経常利益	470	455	+15	+3%		
	親会社株主に帰属する当期純利益	340	325	+15	+5%		
為替	平均レート：米ドル（円）	107.0	111.0	▲ 4.0	▲3.6%		
	ユーロ（円）	120.0	128.4	▲ 8.4	▲6.6%		
主要投資	研究開発費	190	166	+24			
	設備投資額	220	217	+3			
	(減価償却費)	135	115	+20			

FY2019 通期予想 (セグメント別)

- ・計測と医用は過去最高売上を目指す
- ・計測は7期連測の増収増益を目指す
- ・医用、航空も増収増益を計画

(億円)	売上				営業利益				営業利益率		
	FY2019	FY2018	前期比		FY2019	FY2018	前期比		FY2019	FY2018	前期比
			差額	増減率			差額	増減率			
計測	2,565	2,414	+151	+6%	415	388	+27	+7%	16.2%	16.1%	+0.1pt
医用	710	691	+19	+3%	27	23	+4	+16%	3.8%	3.4%	+0.4pt
産業	450	454	▲ 4	▲ 1%	37	45	▲ 8	▲ 17%	8.2%	9.8%	▲ 1.6pt
航空	300	273	+27	+10%	9	1	+8	+656%	3.0%	0.4%	+2.6pt
その他	75	80	▲ 5	▲ 6%	13	14	▲ 1	▲ 5%	14.0%	14.1%	▲ 0.1pt
調整額					▲ 31	▲ 26	▲ 5				
合計	4,100	3,912	+188	+5%	470	445	+25	+6%	11.5%	11.4%	+0.1pt

- ① F Y 2019 中間 決算
- ② F Y 2019 中間 セグメント別業績
- ③ F Y 2019 通期予想
- ④ 重点事業戦略**

2019年度の重点事業戦略

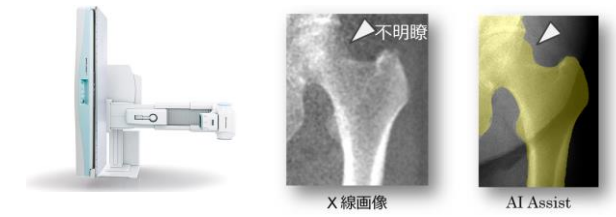
《計測機器》

1. 新製品の展開 (LC・高分解能MSなど)
2. ITソリューション事業・アフターマーケット事業の強化
3. 研究開発の協業推進
4. 中国での事業拡大



《医用機器》

1. 新製品の展開 (血管撮影、デジタル一般撮影など)
2. アフターマーケット事業強化
3. 北米事業の強化



《産業機器》

1. TMP事業の強化 (サービス事業強化など)
2. 工業炉等の拡大



《航空機器》

1. 新規事業立上げ



(事業・製品基盤の強化・新規分野の開拓による需要拡大)

1. AIを活用した新製品の開発
2. 事業間のシナジーを生かした新規システム
3. 外部機関との共同を生かした新分野の開拓



重点事業戦略：分析計測機器

分析計測の製品ラインナップの拡大による事業拡大

クロマトグラフ



HPLC GC SFC

質量分析計



LC/MS GC/MS PESI MS MALDI-TOF MS

分子分光計



UV/VIS FT-IR RF

原子分光計



ICP MS TOC EDX

ライフサイエンス



マイクロチップ電気泳動 MCE 細胞解析 セルピッカー

材料試験機



試験機 熱分析 粒子分析

表面分析計



ESCA EPMA SPM

一般分析計



天秤 水分計 静電気除去装置

ソフトウェア & ネットワーク

Shimadzu Total Solution for PIC/S GMP, FDA 21 CFR Part 11 and Computerized Validation

Reliability and Security

LabSolutions

Progress Configuration of LabSolutions System Analytical Network Data System Compliant with ER/ES Regulations

クライアント PC



iPad



サーバー



重点事業戦略：計測機器

1. 新製品の展開

- 新製品：製品ラインナップの強化・拡充（全自動化、現場分析対応、データインテグリティ等）
- アナリティカル・インテリジェントス：装置のインテリジェント化による分析支援機能の強化
- アフターマーケット：試薬・消耗品の拡大、サービス事業の強化

LC



Nexeraシリーズ

- ・高感度・高速、AI機能により使いやすさを向上
- 2019.3 発売

超臨界分取LC



Nexera UC Prep

- ・化合物の回収が容易な分取LC
- ・米製薬コンソーシアムと共同
- 2019.10 発売

ダイレクトMS



DPiMS-8060

- ・簡単な前処理で分析可能
- ・法医学、異物解析など
- 2019.1 発売

GC



Nexis SCD-2030

- ・含硫黄不純物を高感度検出
- ・石油精製・石油化学など
- 2019.2 発売

試験機



AGX-V

- ・高速・高精度・操作性を向上
- ・ネットワーク活用で改ざん防止
- 2019.4 発売

“ANALYTICAL INTELLIGENCE”

- 島津の独自の新たなコンセプト。
- 熟練を要する分析ノウハウを自動化して、より進化した価値を分析支援機能として提供する。



“LabTotal” アフターマーケット事業

- 血中薬物モニタリング用試薬を発売
- 消耗品・保守メンテナンスなどの
- アフターマーケット事業を拡大



中国での新製品開発による事業強化

中国BCEIA展 2019で発表した新製品

日本で開発した新製品 (ハイエンド製品)

Nexera LC-40



A new high-end LC with Analytical Intelligence (AI)

DPIIMS (PESI-MS)



Direct probe ionization MS with quick and easy operation

Nexis SCD-2030



Sulfur chemiluminescence detection GC with high sensitivity and stability

中国で開発した新製品 (中国市場への対応強化)

イオンクロマトグラフ Essentia IC-16



Fully inert suppressor IC system with high stability

細胞マイクロチップ[®] LCMS/MS System



Automated cell culture and metabolite analysis system with microchip LC/MS/MS

ロボットを用いた全自動化 EDXシステム



Automated EDX system with 540 samples per cycle

重点事業戦略：医用機器

製品ラインナップと競争力強化の方向性

X線 診断装置



一般撮影
システム

診断機能の拡充



回診用撮影
システム



X線TV
システム

治療支援機能の充実



外科用X線TV
システム



血管撮影
システム

透視・動画撮影機能

医療業務効率化の提案



電子カルテ
システム

再来受付
システム

先進的な診断の提案



PET
システム



近赤外光
イメージング

新たな治療支援の提案



近赤外光
システム



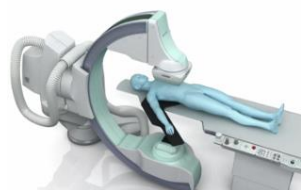
放射線治療用
システム

重点事業戦略：医用機器

1. 新製品の展開

- 血管撮影システムの強化
- X線診断装置の差別化：（デジタル一般撮影：胸部動態診断への展開など）
- アフターマーケット事業及び北米事業の強化

血管撮影システム



Trinias unity smart edition

- ・下肢血管検査から治療支援を自動化
- 2018.4 発売(SWは10月発売)

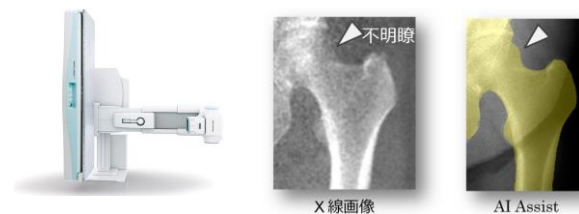
一般撮影



RADspeed Pro 動態解析対応

- 肺機能の可視化、呼吸機能評価など、
- 2019.2 発売

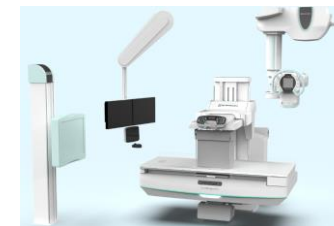
X線TV



SONIALVISION G4

- ・世界初のAI技術で高精度な骨密度測定
- 2019.8 発売

近接透視台



FLUOROspeed X1

- ・FPDデジタルの高画質/最新被爆低減
- 2019.下期発売

アフターマーケット事業の強化

- IoTを活用した故障予知と双方向リモートサービスの強化
- サービスエリア拡大とカスタマーサポートの強化
- グローバルパーツセンターの充実

生産能力の増強とコストダウン

- 医用の工場である島根島津に新棟を竣工（2019年2月）投資額:17億円

北米事業の強化

- 診断用X線システムの拡販
 - SONIALVISION G4 検査室利用効率の向上
- 血管撮影システムの拡販
 - 販売の体制強化、サービス体制の整備
- 東部顧客サポート強化



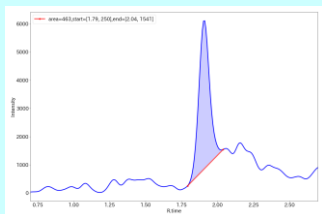
AIを活用した製品開発

計測機器

液体クロマトグラフ質量分析計 (LC/MS)

MSデータの自動解析

(2019年9月発売)



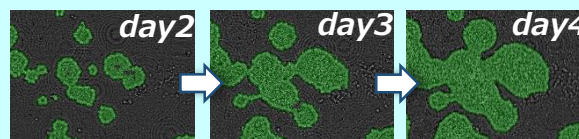
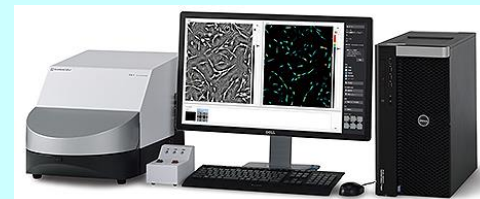
作業者に依存せず、AIでデータを高速・高精度で読み取る

計測機器

細胞培養解析システム

自動面積計測

(2019年9月発売)



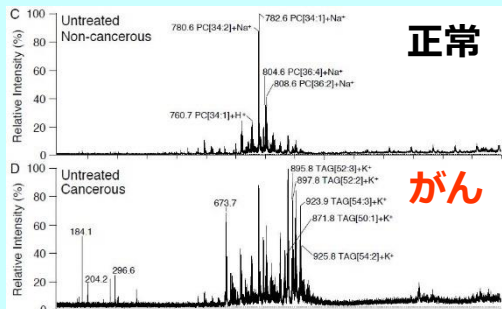
細胞の増殖状況を確認するため、AIで面積を自動計測する

計測機器

迅速がん診断支援システム

がんの自動判定

(治験中)



がんの存在する確率をAIで迅速に自動判定する

医用機器

X線TVシステム

骨密度測定における大腿骨の領域検出

(2019年8月発売)



SmartBMD
AI Assist



X線画像から大腿骨の輪郭をAIで自動抽出する

医療、画像による可視化と質量分析計による定量技術の融合を利用した健康寿命の延伸



アドバンスト・ヘルスケアについて >

がん・生活習慣病などの疾患を克服し、健康なライフサイクルを実現するために、超早期診断・診断・治療・予後の各段階の研究開発に当社技術を提案



光免疫療法の研究支援

ビデオ >

技術紹介 >



原発性アルドステロン症のAVS支援システムの開発

ビデオ >

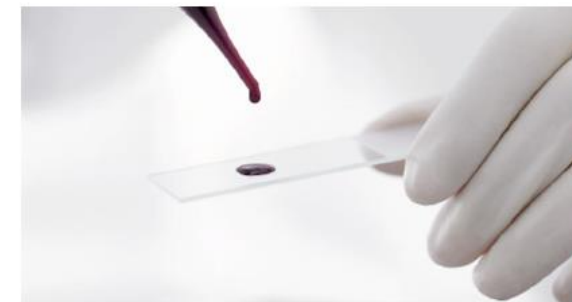
技術紹介 >



アルツハイマー病創薬の開発支援

ビデオ >

技術紹介 >



低侵襲な早期診断の未来

技術紹介 >

分析機器と医用機器を活用した新規システム製品

医用画像と分析質量分析データを同一画面で確認する統合システム

- 東北大学との共同開発：原発性アルドステロン症の診断と手術
- 検査と手術を同一日に実施することにより患者負担を低減
 - 従来は、手術前のカテーテル採血後、血液検査は外部に依頼、1週間後、LCMSデータを見て手術実施

医用：血管撮影装置

分析：LCMS

統合ソフトウェア画面



画像データ



質量分析データ(数値)

データ統合ソフトウェア
(医用の画像データと分析の質量分析データを統合)



#	採血管ID	血管名	採血時刻	Aldosterone	Cortisol	A/C	ステータス
①	SHIMADZU001	RAV_CV	-	RI.E	14.23	-	分析完了
②	SHIMADZU002	LAV_CV	-	RI.E	24.21	-	分析完了
③	SHIMADZU005	EV	-	RI.E	RI.E	-	分析完了
④	SHIMADZU003	LAV_IPV	-	RI.E	23.24	-	分析完了
⑤	SHIMADZU004	RAV_CV	15	2256.09	776.80	2.90	分析完了
⑥	SHIMADZU006	LAV_CV	17	3978.23	1453.25	2.74	分析完了
⑦	SHIMADZU007	EV	17	RI.E	17.55	-	分析完了
⑧	SHIMADZU008	LAV_IPV	19	3346.58	1209.73	2.77	分析完了
⑨	SHIMADZU009	LAV_tbx	22	3511.39	1543.44	2.27	分析完了
⑩	SHIMADZU010	RAV_tbx	23	2416.53	1378.35	1.75	分析完了
⑪	-	-	-	-	-	-	採血管ID読取中
⑫	-	-	-	-	-	-	採血管ID読取中
⑬	-	-	-	-	-	-	採血管ID読取中
⑭	-	-	-	-	-	-	採血管ID読取中
⑮	-	-	-	-	-	-	採血管ID読取中

5箇所から採血

質量分析データ (複数箇所の数値)

医用画像 (複数箇所から採血)

分析機器と医用機器を活用した新規システム製品

医用画像と分析質量分析データを同一画面で確認する統合システム



以下のURLをご参照ください

<https://www.shimadzu.co.jp/advanced-healthcare/>

事業を通じたSDGsへの貢献

目標毎に現在から将来への変化をベクトルで表現



アンメットメディカルニーズ、超早期検査への取り組み

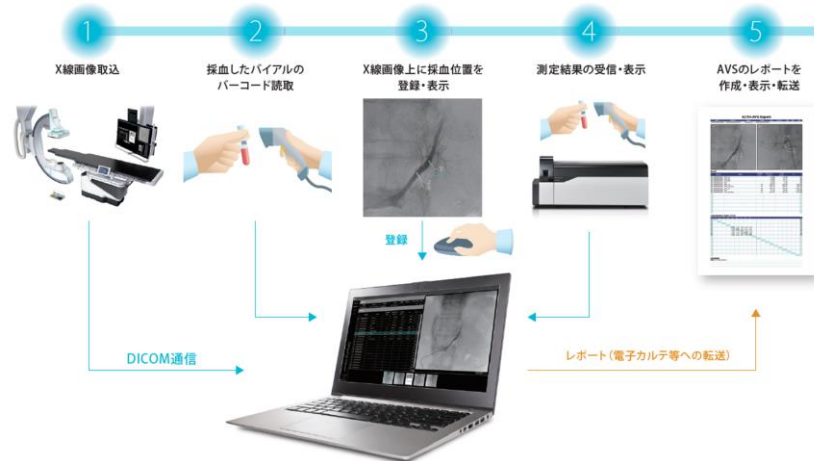
わずか0.5mlの血液サンプルからアルツハイマー病の原因物質と言われるアミロイドβを検出できる簡便な手法を開発。

アミロイドβの蓄積度合いを推定する分析方法



○ 低侵襲、低コスト → 手軽に検査が可能になり、臨床治験にも有用

副腎静脈サンプリング支援システム



3 すべての人に健康と福祉を



質量分析技術

画像処理技術

的確にサンプリングした物質を分析
医療の発展に貢献

疾患を科学的に解明

カテーテルなどの医療デバイスと血管撮影システムを組み合わせ、体内からサンプリングした物質の質量を分析することで、科学的に疾患原因へアプローチ



不安な胸に、やさしくありたい。

島津製作所が開発した、乳がん検査技術。
 検出器ホールに乳房を入れるだけで、
 小さな乳がんの兆しまで見分ける
 世界最先端技術です。

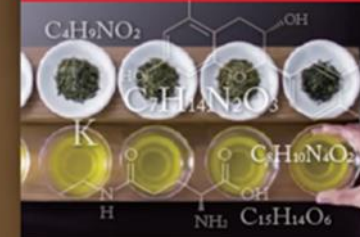


世界に答えを。

 **SHIMADZU**
 Excellence in Science



Shimadzu Corporation,
 making tea work
 for humanity.



High Performance Liquid Chromatographic
 Mass Spectrometers

本説明資料に記載の将来の業績に関する内容は、経済情勢・為替・テクノロジーなど
 様々な外部変動要素により、事前見通しと大きく異なる結果となることがあります。

お問い合わせ先：(株)島津製作所
 コーポレート・コミュニケーション部 IRグループ
 電話：075-823-1673 E-Mail：ir@group.shimadzu.co.jp